

Rotary International District 2510



GOVERNOR's Monthly Letter

Volume 2

2026 8月発行

2026-2027 ガバナー月信



ハマナス

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間



国際ロータリー第2510地区

2026-2027年度ガバナー 古野 重幸

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail: rid2510@pxva.ne.jp <https://rid2510.org>

2026-2027年度 第2510地区メッセージ 「Discover your joy in Rotary」



オラインカ・ハキーム・ババロラRI会長ご夫妻と。

ガバナー月信 vol.2 (8月号) 目次

ガバナーメッセージ	1
2026ー2027年度地区委員会活動計画	2～16
ガバナー公式訪問報告	17～20
クラブ活性化ワークショップ	21
新会員紹介	22
ガバナーノミニー候補者推薦のお願い	22
米山奨学生紹介	23
第8期RLIセミナーのご案内	24
地区大会実行委員会に聞く	25
地区大会のご案内	26・27
2027年バルセロナ国際大会のご案内	28・29
地区カレンダー(8月・9月)	30



「ガバナーメッセージ」

「職業人の集まり」 ～魅力ある人が魅力ある組織を作る～

国際ロータリー第2510地区
2026-27年度ガバナー

古野 重幸
(札幌 RC)

1905年アメリカのシカゴで4人の友人によって一つのクラブが誕生しました。提案者のポール・ハリスは弁護士、ガスターバス・ローアは鉱山技師、ハイラム・ショーレーは仕立て職、シルベスター・シールは石炭商でした。ポール・ハリスは後に何故ロータリークラブを作ったのかと問われた時に「信頼できる、何でも話せる友人が欲しかった」と答えています。当時の荒廃したシカゴでは商道德も相当乱れていたことが推察されます。そのような事情から「一業種一社」を原則とする決まり、いわゆる職業分類のルールが出来たのも必然であったと思います。少し話が逸れますが、水野前RI理事はご挨拶のなかで、「職業分類のルールは事実上なくなったけれども、今でもロータリーにとって大切な考え方だと思っている」と常々おっしゃっています。その真意はどこにあるのか、今度お会いした折に直接お聞きしたいと思っています。

さて、ロータリーは職業人の集まりであるという原点を改めて認識すべきではないかと思っています。ロータリークラブには青年会議所(JC)出身者が多くいます。私も32歳から40歳まで(JCは定年40歳)札幌JCに在籍し、最終年度には理事長を務めました。私が入会した1990(平成2)年の会員数は520名でしたが、現在170名まで減少しています。一方、組織は異なりますが、同じく地域の若手経済人の集まりである札幌商工会議青年部は設立から10年でどんどん会員数が増えて、今では300人を超える組織となっています。

その違いはどこから来ているのか。興味深いところです。

組織に魅力があるから人が集まる。魅力ある人たちが集う組織だから、磁石のように人を惹きつける。相互扶助のような即物的な職業上のメリットはなくても、自己を成長させる場であるか否か。「良い友人を得るにはどうしたらよいか、それは自分が良き友人になること」。ある先輩の忘れられない言葉です。

昨年の函館で開催された地区大会で刀根パストガバナーのご講話があり、大変勉強になりました。その終わりの部分で、1961年東京大会でのJ.エド・マックロウリンRI会長の言葉が紹介されました。「あなた自身が魅力的な人間であれば、また、そのような人が増えれば、あなたのクラブが魅力のあるクラブになる」「あなた自身がロータリー。あなたが主人公。あなたが、なくてはならない人に!」「You are Rotary!」

大変厳しいメッセージですね。ロータリークラブが元々職業人の集まりであれば、私たち一人ひとりが心を高め合い、個人として、自分の事業において奉仕を実践し、魅力ある職業人になる努力を怠ってはならないと思います。

国際ロータリー第2510地区 2026-2027年度 地区委員会活動計画



会員増強委員会

委員長 嵯峨 義輝
(PG 岩見沢RC)

1. 活動方針

当地区では近年、会員数の減少傾向が続いており、会員の高齢化、退会率の上昇、新入会員の定着不足が重なり、クラブ運営が困難となるケースも見受けられる。その結果、やむなく解散に至るクラブも発生しており、会員増強は一部のクラブの問題ではなく、地区全体の持続可能性が問われている状況である。

毎年多くの新たな会員を迎えるが、同時に多くの仲間が去っていく。本年度は「入りやすく、続けやすく、誇りを持てるクラブづくり」を通じた持続可能な増強を基本方針に、地区委員会と連携し、増強委員でもあるガバナー補佐とともに各クラブに寄り添い、伴走していく。

会員増強は短期間で成果が表れるものではないが、行動を継続することでクラブの未来を形造るものである。地区増強委員会は、各クラブに寄り添い、ともに考え、ともに行動する姿勢を大切にしながら行動する。

2. 活動計画

1. 2026年7月26日(日) 地区クラブ活性化セミナーの開催
2. 各クラブにおける会員構成・退会傾向の簡易点検を実施し、課題の可視化を図る。
3. ガバナー補佐と連携し、増強が停滞しているクラブへの伴走支援を行う。
4. 会員増強や定着に成功しているクラブの事例を地区内で共有する。



立法案検討委員会

委員長 嵯峨 義輝
(PG 岩見沢RC)

1. 活動方針

- ・第2510地区の会員に3年に一度開催される規定審議会・決議審議会について周知し検討してもらうように活動したい。
- ・2年後の規定審議会に向けて各クラブから制定案を提案できる環境づくりに取り組みたい。
- ・6月までに締め切りになる決議案について、各クラブからの提案について広報活動を通じて促進する。
(決議案は毎年6月30日締め切り)



行動計画委員会

委員長 齋藤 茂生
(GN 恵庭RC)

1. 活動方針

(1) 未来を担う青少年事業の活性化

- ・青少年交換生を増やすため、「認知拡大」「安心感の提供」など、学校や保護者へのアプローチを積極的に行っていく
- ・インターアクトクラブの新設を目指す
- ・RYLAセミナーの参加者を増やし、若きリーダーの育成に力を入れる

(2) RIの強調事項であるポリオ根絶に向けて、内外に向けてその重要性を発信及び募金活動を地区のポリオプラス委員会と公共イメージ向上委員会と連携を図る。



新会員研修委員会

委員長 松永 英樹
(室蘭東RC)

1. 活動方針

入会年度の浅い会員のニーズにあった研修会の在り方を検討し、実施する。

2. 活動計画・支援内容について

2-1. 前年度活動内容

- ・研修の在り方(場所・時間・方法・予算)の検討
- ・新会員対象の研修セミナーの実施

2-2. 委員会としてクラブに支援できる内容

- ・新会員へのロータリーの知識、情報の提供
- ・新会員教育のための例会実施例などの提供

2-3. 行事日程について

- ・前半は研修内容の検討



危機管理委員会

委員長 山口 史朗
(札幌東RC)

1. 活動方針

- ・ハラスメントのない地区、危機管理事案に対応できる地区
- ・青少年を守り、のびのび健やかに成長できるサポート態勢
- ・各クラブの危機管理体制と態勢構築サポート

2. 活動計画・支援内容について

2-1

- ・危機管理委員会の開催(年2回の定例と危機管理事案時の臨時開催)
- ・RIJYEMの研修参加と交流
- ・要望があれば、危機管理セミナーの開催
- ・危機管理意識向上のための諸施策

2-2.2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

- ・クラブ危機管理委員会規則策定のサポート
- ・例会卓話等や各種会合での危機管理意識の向上のためのセミナー
- ・ハラスメントの相談や対応



ロータリーフェローズ委員会

委員長 鄭 子龍
(札幌モーニングRC)

1. 活動方針

- ・ロータリーフェローズ(インターアクト、ローターアクト、青少年交換学生、ROTEX、RYLA、米山記念奨学生、財団奨学生、VTT、および学友)を対象にロータリーとのつながりを深めることを目的にフェローズの交流活動、学友会活動を支援・協力する。
- ・フェローズ、学友に対するロータリアンの理解向上のための活動を推進する。
- ・フェローズ・学友とロータリーをつなぎ、ロータリアンになることを推進する。

2. 活動計画・支援内容について

2-1.前年度活動内容

- ・定期的に委員会を開催
- ・2025年11月30日にフェローズ 交流お料理イベント「Let's enjoy cooking」を開催
- ・2026年1月31日にロータリーフェローズワークショップを開催

2-2.2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

- ・ロータリーフェローズワークショップは、全ての青少年育成プログラムの内容を理解するうえで非常に効率的かつわかりやすいイベントとなっている。また、全てのクラブに案内状を送付しているので、興味を持つ全てのロータリアンが参加可能である。新入会員はもちろん、全ての会員にロータリーの 学びの場として、大いに活用していただきたい。

2-3.行事日程について

- ・秋頃(未定)にお料理イベントを予定(学生が参加するため日曜日の午前中)
- ・27年年初の早い時期(未定)にロータリーフェローズワークショップを予定



地区クラブ奉仕委員会

委員長 松下 早苗
(栗山RC)

1. 活動方針

- ・クラブ活性化のためのクラブに寄り添った活動
- ・クラブが主体をモットーにこの二つを方針とし、それぞれの特徴を生かした活気ある魅力的なクラブ運営一助となるよう活動していく

2. 活動計画・支援内容について

2-1. 前年度活動内容

- ・未来ビジョン委員会等の設置
3年後、5年後、10年後のクラブの在り方を検討してもらうための委員会や会議等の設置を推進する。
- ・アンケートの実施
各クラブの会長エレクトにアンケートを実施し提出して頂いたものを集計し、その結果をもとに各クラブが何を必要としているかを把握し問題解決の手伝いをする。アンケート結果は各クラブ 会長と共にガバナー、ガバナー補佐、各委員長に必要な資料・情報を提供する。
- ・広報ハイブリッドカード
カードを全会員に配布し、マイロータリー、ジャパンポータルサイト、地区ホームページ、ガバナー月信、地区情報交流ひろば(SNS)へのアクセスと活用の強化を推進する。
- ・情報交流会
第2510地区クロスオーバー交流会をズームにて複数回行う。各委員会同士が連携を深め、委員会としてクラブに何ができるか迅速な対応や垣根を超えた活動など新たな方向性を見いだし有効な効果が出るよう期待して実施する。

2-2. 2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

- ・未来ビジョン委員会等設置の際の疑問や分からないことを解決するための支援をする。
- ・必要な資料
- ・情報の提供又は卓話など。クラブが持続可能な目標を立て、達成状況を確認するためロータリークラブセントラルの活用推進をする。

2-3. 行事日程について

日程は未定。年間10回程度の委員会をリアルは1回、他はZOOMで開催する。



地区公共イメージ向上委員会

委員長 小川 有積
(岩見沢RC)

1. 活動方針

古野地区ガバナーメッセージ「Discover your joy in Rotary」とRI会長メッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」を受け、ロータリーに参加する喜びを見出し、多様な世代・職業・価値観を尊重し、メンバー一人ひとりが喜びと誇りをもって活動できるクラブづくり支援の一助となる活動を目指す。

2. 活動計画・支援内容について

2-1. 前年度活動内容

(1) 地区内クラブに対する情報の受発信。

- SNSや広報活動を通じて、ロータリーの社会的価値を広く発信し地域社会における存在感を高める。
- 各クラブの例会などで卓話を通して公共イメージ向上の必要性和取り組みを推進する。
- ロータリー公共イメージコーディネーターとの連携
- 他地区との連携および情報交換
- 地区委員会との連携

(2) クラブ奉仕委員会・ICT委員会との協力

地区プロジェクトや地区委員会及び各クラブの活動をアウターに向けて発信すると共に、「ロータリーブランドリソースセンター」の活用を各クラブに呼び掛ける。

(3) 委員会のスキルアップ

公共イメージ向上のための効果的な広報の研究、地区プロジェクト及び地区委員会の情報把握を行うために、定期的な委員会開催と委員会内情報共有を高める。

2-2. 2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

- 地区公式インスタグラムで各クラブの対外的な奉仕活動を発信。
- クラブの例会などで卓話を通して公共イメージ向上の必要性和取り組みを推進。

2-3. 行事日程について

- 2026年7月 地区クラブ活性化ワークショップ・第1回委員会
- 2026年9月 第2回委員会
- 2026年10月 地区大会
- 2026年12月 第3回委員会
- 2027年3月 第4回委員会
- 2027年4月 クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー
- 2027年5月 第5回委員会



ICT 委員会

委員長 **里見 英樹**
(札幌幌南RC)

1. 活動方針

従来の「My Rotary登録・活用推進」「地区ホームページ・SNS活用」「オンライン会議支援(RLI)」「ICT相談窓口運営」に加え、「AI活用による地区・クラブ運営の合理化」を新たな重点方針とする。

生成AIをはじめとするデジタル技術を適切かつ安全に活用することで、クラブ役員の事務負担軽減、例会・奉仕活動の質向上、広報力強化、会員エンゲージメント向上、地区全体の運営効率化を実現し、「持続可能なロータリー運営のモデル地区」を目指す。

2. 活動計画・支援内容について

2-1.前年度活動内容

- 「My Rotary登録率向上支援」
- 「地区ホームページ活用促進」
- 「SNS活用支援および公共イメージ向上委員会との連携」
- 「RLI・地区委員会等のオンライン開催支援」

これらを通じ、地区全体のICT基盤整備と活用定着を図った。

2-2.2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

(1)従来ICT支援の強化

- 「My Rotary登録率向上を目標とした重点支援」
- 「地区ホームページ投稿支援体制の利便性向上」
- 「地区大会等におけるICT相談窓口の設置およびオンライン開催支援」

(2)新規重点施策:AI活用推進プログラム

- AI活用セミナーの開催(年2回程度)
- ・生成AIの基礎とロータリー活用法
- ・クラブ活動をAIで効率化する方法
- ・AI活用ガイドライン策定

2-3.行事日程について

- 7月 地区ICT委員会キックオフ会議
- 9月 My Rotary・AI活用基礎セミナー
- 10月 地区大会 My Rotary・AIブース出展
- 3月 AI実践セミナー(online)
- 随時 ICT/AI相談窓口/RLI等 ZOOMブレイクアウトルーム運営



職業奉仕委員会

委員長 **大坪 誠治**
(美唄RC)

1. 活動方針

地区HPでの情報更新や会員間での学習会、講演会などを通じて、「職業奉仕は難しい」との考えを可能な限り払拭していただくとともに、もっと多くの方にロータリーの基礎である職業奉仕に関心を持ってもらう。

2. 活動計画・支援内容について

2-1.前年度活動内容

- ・職業MAP検索事業（意向調査終了、問題点解決に向けて検討中）
- ・地区職業奉仕委員会HPの充実（ミニ卓話形式25-26年度から実施）
- ・年1回の講演会（職業奉仕月間）
- ・各委員会との連携（特に職業MAPはICT委員会との連携が必須）
- ・顔の見える委員会

2-2.2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

- ・職業奉仕に関する卓話（25-26年度実績：函館東RC、千歳RC、札幌RC、札幌東RC、江別RC）
- ・ロータリに関する情報（歴史や考え方）をHPで更新（ミニ卓話形式）

2-3.行事日程について

- ・2027年1月講演会



社会奉仕委員会

委員長 **井元 誉明**
(札幌東RC)

1. 活動方針

地区内の各クラブが取り組む社会奉仕活動が、より一層活性化するとともに、クラブ自身の活性化にもつながるよう、委員会として積極的に支援を進めていきます。

2. 活動計画・支援内容について

2-1.前年度活動内容

2018年北海道胆振東部地震における災害支援活動報告書を作成し、寄付をいただいた各ロータリークラブへ送付する。
地区内各クラブの社会奉仕活動について情報収集を行い、可能な限り活動に参加し、新規会員を含む各クラブとの積極的な情報共有を進める。

2-2.2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

各クラブが取り組んでいる社会奉仕活動について、その内容を広く共有し、情報発信を充実させる。また、既存の継続事業や新たな社会奉仕活動の相談窓口と必要なサポートを行う。

2-3.行事日程について

2026年7月 26-27年度活動打ち合わせ会議

2026年8月 2018年北海道胆振東部地震 災害支援活動報告書の作成・送付



国際奉仕委員会

委員長 燕 美雪
(留萌RC)

1. 活動方針

国際奉仕についての理解を深め、ガバナー方針のもと、ガバナー補佐と連携しクラブとクラブを繋ぐ国際奉仕委員会を目指す。他の各委員会との情報共有や共同支援策を模索し、ロータリーだからこそできる国際奉仕の楽しさを発見する。

2. 活動計画・支援内容について

地区内クラブにおける情報共有及び連携促進を目的とした、国際奉仕事業の実施状況アンケートを各クラブに要請する。



青少年奉仕委員会

委員長 大泉 清
(札幌モーニングRC)

1. 活動方針

- ・地区インターアクト委員会、地区青少年交換委員会、地区RYLA委員会の運営がスムーズに行われるようにお手伝いする。
- ・地区ロータリーフェローズ委員会、ローターアクト支援委員会と連携を図り、プログラム参加者の間での交流をしてもらう。

2. 活動計画・支援内容について

2-1. 前年度活動内容

- ・年に2回以上委員会を開催し、情報交換を行う。
- ・各委員会に出席する。
- ・各委員会が開催するイベントに参加、お手伝いをする。
- ・インターアクターに対して他のプログラムを紹介し、長くロータリーに関わってもらえるようにしていく。
- ・地区危機管理委員会に参加する。

2-2. 2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

- ・各委員会のイベントに関わるクラブへの支援を行う。
- ・卓話を通して青少年奉仕についての理解を深める。

2-3. 行事日程について

- ・2026年8月 第1回地区青少年奉仕委員会開催
- ・2027年2月 第2回地区青少年奉仕委員会開催



青少年交換委員会

委員長 **藏重 健人**
(札幌北RC)

1. 活動方針

- ・派遣候補生、受入学生、ROTEXが意義ある活動ができる場を提供する。
- ・参加学生に青少年交換／ロータリークラブの理解を深めてもらえるオリエンテーション各行事の企画を行う。
- ・参加クラブに対してクラブ、カウンセラー、ホストファミリーの役割の理解を深めてもらえるオリエンテーション作りを行う。
- ・青少年交換事業にROTEXの参加を促す。

2. 活動計画・支援内容について

2-1.前年度活動内容

- ・派遣候補生、受入学生オリエンテーションを実施(全12回程度)
- ・参加クラブ、カウンセラー、ホストファミリー向けのオリエンテーションを実施
- ・受入学生歓迎会、派遣候補生壮行会、帰国報告会を実施
- ・秋季、冬季、春季にROTEX、派遣候補生、受入学生を対象に研修を実施
- ・第2500地区との交流を実施(全3回程度)
- ・オリエンテーションにROTEX参加を促し実体験報告、各行事への参加協力をしてもらう。
- ・派遣候補生、受入学生、ROTEXが参加し奉仕活動を実施
- ・必要に応じて地区内クラブ
- ・高校へのプログラム／事業説明を行う。
- ・ROTEXの組織化を継続課題とし、実体のあるROTEX活動の構築を行う。
- ・各種オリエンテーションの内容を再検討、より時代にあった内容に改善し参加者に理解をしてもらえるように努める。

2-2.2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

- ・上記内容を含めたアウトバウンド学生のサポート並びにインバウンド学生へのサポート。

2-3.行事日程について

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| 2026年 7月 | 2026-2027年度 派遣候補生壮行会 |
| 2026年 7月 | 2025-2026年度 夏季受入学生送別会 |
| 2026年 9月 | 2025-2026年度 派遣生帰国報告会 |
| 2026年 9月 | 2027-2028年度 派遣候補生応募締切 |
| 2026年 11月 | 一泊研修(一泊、第2500地区合同、ROTEX、派遣候補生、受入学生) |
| 2027年 2月 | スキー研修(一泊、第2500地区合同) |
| | さっぽろ雪まつり見学/ボランティア(第2500地区合同開催) |
| 2027年 3月 | 2027-2028年度派遣候補生募集要項配布開始 |
| 2027年 5月 | スプリング研修(ROTEX主体の企画運営) |
| 2027年 6月 | 2026-2027年度受入学生送別会 |
- ※通常オリエンテーション(月1回を目安に開催)



RYLA 委員会

委員長

後藤 広隆
(函館五稜郭RC)

1. 活動方針

- ・RYLAセミナーを通じて、青少年のリーダーシップの向上と地区内のロータリークラブ全体へのRYLAセミナーの認知度向上に努める。
- ・関係各委員会と情報交換等連携を強化し、青少年奉仕の活動を広く進めていく。

2. 活動計画・支援内容について

2-1.前年度活動内容

- ・各月RYLAセミナーに向けた打合せ
- ・前年度開催地(洞爺湖町)との打ち合わせ
- ・ガバナー補佐会議やラーニングセミナー等での告知活動
- ・5月15～17日 RYLAセミナー開催

2-2.2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

- ・各地域の青少年のリーダーシップを育てることで地域の発展やクラブの会員増強につなげるものとする

2-3.行事日程について

- ・4月 全国RYLA研究会
- ・5月 RYLAセミナー開催予定



インターアクト委員会

委員長

阿部 竜司
(札幌モーニングRC)

1. 活動方針

- ・地区インターアクト委員会のプログラムである海外研修と年次大会を充実したものにすべく検討する
- ・インターアクトクラブ及びクラブの所属する高等学校にロータリークラブの奉仕の精神を理解したうえで活動してもらう。
- ・地区内にインターアクトクラブの情報を発信し、提唱クラブ以外のクラブにもインターアクトクラブを理解してもらい、活動に協力してもらう。
- ・新しいインターアクトクラブの設立に向け情報収集と情報提供をする。
- ・他地区のインターアクトクラブとの交流を積極的に推進する。

2. 活動計画・支援内容について

2-1.2026-27年度活動内容

- ・年次大会の開催(2027年6月)
 - ・研修旅行の実施(2026年8月予定)
 - ・地区大会参加の奨励(並行プログラム等)
 - ・年4回～5回の地区委員会の開催
 - ・インターアクトクラブ間(他地区を含む)の情報交換・交流の推進
 - ・インターアクト卒業後のローターアクトクラブ入会促進およびローターアクターと共同例会の計画
 - ・学友委員会への協力
 - ・新規インターアクトクラブの設立支援
- (現在、恵庭RC・札幌西RCが具体的な設立準備に進んでおり、小樽南RC・浦河RCが関心ありという状況。)

2-2.2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

インターアクトクラブの活動内容や、国際ロータリーにおけるインターアクトクラブの位置づけ、理念等を各クラブにお伝えする

2-3.行事日程について

- 2026年8月・研修旅行
- ・国際ロータリー第2500地区&2780地区との合同研修会
- 2027年6月・年次大会



ロータリー財団委員会

委員長

羽部 大仁

(PG 札幌南RC)

1. 活動方針

地区ロータリー財団委員会(DRFC)は、地区の財団補助金事業及び寄付活動により多くの会員が参加するよう啓蒙活動を行う。ロータリー財団とクラブ会員をつなぎ、地区補助金等のロータリー財団資金のさらなる活用を推進しながら、地区財団資金推進委員会とともに、活動の元となる寄付推進、「ゼロクラブ0」の達成、冠名基金の創設等、資金寄付推進(ファンドレージング)等に注力する。

2. 活動計画・支援内容について

2-1.2026-27年度活動内容

ロータリー財団とクラブをつなぐ財団補助金委員会、ポリオ根絶の推進を目指すポリオプラス委員会、日本だけでなく世界にとっての有能な人材を育てる財団奨学金・平和フェロー委員会、グローバル補助金のさらなる推進を目指すVTT・グローバル委員会、地区恒久基金や大口寄付の財団資金推進委員会などの関連委員会の活動と様々な苦境にある世界の子供たちへの人道支援奉仕活動を推進する国際奉仕委員会とともに、ロータリー財団への寄付が有効に使われていることをより多くのクラブに知ってもらい、ロータリー財団を知り理解する機会としたい。

2-2.2026-27年度委員会としてクラブに支援できる内容

- ・財団関連委員会と協力して、各クラブで行われる財団プログラムの実施に協力する。
- ・各クラブからの卓話の依頼に積極的に対応し、ロータリー財団を理解してもらう機会を逃さず活用する。

2-3.行事日程について

2027年2月：地区補助金管理セミナー(WEB開催予定)

2027年3月：地区財団・米山セミナー(PELS)



財団奨学金・平和フェロー委員会

委員長

瀧澤 隆之介

(札幌北RC)

1. 活動方針

国際ロータリーとロータリー財団の指針に沿って、日本国からのロータリー財団奨学生として相応しい奨学生を海外に送り出せるよう、研修および選考のシステムを構築し、サポートに努める。さらには、留学期間終了後も、様々な支援や交流の機会及び地区内での報告の機会等を設ける。このことにより、地区内ロータリアンに対するロータリー財団活動の啓蒙及び学友となった奨学生達に対するロータリー活動の啓蒙に努め、学友からロータリアンになってもらえるように努める。

2. 活動計画・支援内容について

2-1.前年度活動内容

4月30日 次年度委員会	7月10日～10月10日	ロータリー財団奨学生募集
9月 3日 第1回委員会	10月25日 第2回委員会	11月23日 ロータリー財団奨学生面接

2-2.2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

ロータリー財団奨学金に関する卓話、ロータリー財団奨学生帰国時の卓話などを通じた奨学生との交流など

2-3.行事日程について

7月頃 ロータリー財団奨学生募集ポスター作成・奨学生募集

11月頃 ロータリー財団奨学生面接

6月頃 ロータリー財団奨学生壮行会



VTT・グローバル委員会

委員長 姫野 芳安
(札幌北RC)

1. 活動方針

- ・グローバル補助金についての広報活動。
- ・各クラブがグローバル補助金を申請出来る様に支援する。
- ・現在進行中のグローバル補助金の管理

2. 活動計画・支援内容について

2-1.前年度活動内容

- ・2025年9月28日から10月2日まで 環境グローバル補助金事業の進捗状況の確認とラオスでの活動の可能性を探るためのツアーを実施。(ロータリアン11名アクター5名参加)
- ・2026年1月8日から11日まで 国際ロータリー第3340地区(ノンカイ市)の子供達への環境教育トレーニングを実施。(ロータリアン6名、アクター10名参加)ラオスからもロータリアンとアクターがノンカイ市に来て交流。今後ラオスでの展開については検討していきたい。
- ・札幌RC・苫小牧北RC・函館五稜郭RCにて卓話実施。札幌北RC訪問。

2-2.2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

- ・グローバル補助金事業の広報として各クラブへの卓話の実施。
- ・グローバル補助金申請時のサポート。

2-3.行事日程について

- ・現在提唱中のグローバル補助金事業の進捗状況を確認するために現地訪問(インドネシア)
- ・提唱予定の現地訪問(タイ及びラオス)
上記については日程を調整中



財団補助金委員会

委員長 天内 和幸
(札幌モーニングRC)

1. 活動方針

- ・ロータリー財団と地区の規程、方針に基づき活動する
- ・補助金申請クラブ数が前年度を上回る様、積極的に働きかける
- ・ZOOM等を利用しオンラインで委員会を実施する
- ・申請作業の効率化を図り、委員会実務の負担軽減を行う

2. 活動計画・支援内容について

2-1.前年度活動内容

- ・地区補助金に係る一切の業務(申請、交付、報告等)
- ・補助金委員会の開催
- ・卓話の実施
- ・セミナーの実施

2-2.2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

- ・地区補助金に関する卓話
- ・セミナーの実施
- ・地区補助金申請に関する支援

2-3.行事日程について

- 2026年11月 補助金管理セミナー
- 2027年 3月 財団セミナー



ポリオプラス委員会

委員長 丹羽 祐勝
(札幌RC)

1. 活動方針

ポリオ根絶活動のさらなる充実と社会への貢献を目指す。

今年度の活動方針としては常在国2か国と感染者数の更なる撲滅、そしてそれに向けた募金活動、ポリオデーに合わせたテレビ塔のライトアップイベントなどの企画に携わること、現在11名のポリオプラスソサイエティーの登録者数の増加を目指し、目標は合計で25名。

2. 活動計画・支援内容について

2-1.前年度活動内容

募金活動

地区大会でのポリオデーイベント

2-2.2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

・のぼりやポスター、ティッシュなどの啓発物品の提供や貸し出しを実施。

今後はこの貸し出し体制について再検討を進め、より効率的な管理方法を導入する予定。

・ホームページでは現在、RIポリオプラスの最新情報を随時発信しており、卓話依頼も随時受け付ける予定。

・過去に実施されていたチャリティーイベントについて、今後の実施に向けて再検討する。

・ポリオプラス・ソサイエティー(PPS)のさらなる会員増を目標とする。

2-3.行事日程について

・7月平岸マルシェでの募金活動

・10月地区大会での募金活動、ポリオデーに合わせたイベントなど



地区財団資金推進委員会

委員長 渡邊 葉子
(札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブ)

1. 活動方針

・財団寄付 0 クラブが無いようにお願いをする。

・全会員 150ドル寄付をお願いする。

・全会員 ポリオプラス 30ドル寄付をお願いする。

・PHFの周知と増員

・PPSの周知と増員

2. 活動計画・支援内容について

2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

(1)財団が、ロータリーが目指す世界平和のための重点分野である

・平和の推進 ・疾病との闘い ・きれいな水の提供 ・母子の健康

・教育の支援 ・地元経済の成長 ・環境の保護

これらの世界各地で行われている活動を支える重要な役割を果たしていることをご理解いただく広報活動を行う。

(2)地区に戻る財団補助金の活用により、各クラブの地域に密着した奉仕活動が円滑に行われている。



米山記念奨学・学友委員会

委員長 三浦 信一
(札幌清田RC)

1. 活動方針

- ・米山記念奨学事業の成立の背景、理念、これまでの歴史、これからの目標と存在意義を地区内クラブ会員へ周知し、本奨学制度へのより深い理解と協力を求め、より多くの世話クラブ・カウンセラー受諾、寄付金増加を求めたい。
- ・山学友との交流を深めるべく活動をしていく。

2. 活動計画・支援内容について

2-1.前年度活動内容

- ・世話クラブも含め地区内のクラブを訪問し、本制度の説明・広報を行う。
- ・指定学校を訪問し、本奨学制度を説明し、本奨学制度に相応しい学生の推薦を求めた。

2-2.2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

- ・世話クラブ・カウンセラーへの様々な総合的な支援
- ・地区内クラブへ奨学生・本委員が訪問し、本奨学制度の広報活動を通じて、本奨学制度の理解に寄与させていただく。

2-3.行事日程について

- 6月 学友会総会
- 9月 米山奨学生研修
- 12月 新米山奨学生選考面接
- 3月 米山奨学生修了式
- 4月 新米山奨学生オリエンテーション



ローターアクト支援委員会

委員長 高橋 耕
(札幌幌南RC)

1. 活動方針

ローターアクトの年間行事である、地区協議会、地区大会、北海道交流会等の助言、活動費の補助や、ローターアクト地区役員と協力しながら、地区内外のアクトとの交流の促進を図ることによってローターアクト会員増強および新クラブ設立の促進を活動方針としている。

2. 活動計画・支援内容について

2-1.前年度活動内容

- ・年数回の委員会の実施
- ・ローターアクトとの交流の促進

2-2.2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

ローターアクトがRIに加盟することとなり、ローターアクトの位置づけが大きく変更されているが、アクトの提唱クラブ以外には浸透していないのが実情。クラブへの卓話を通して情報提供することが、各クラブに対して支援できることと考える。

2-3.行事日程について

- ・ローターアクト地区協議会 9月～10月頃(詳細は未定)
- ・ローターアクト地区大会 来年5月～6月頃(詳細は未定)



地区RLI委員会

委員長 **日浅 尚子**
(札幌RC)

1. 活動方針

第8期RLIセミナーの受講を推進し、クラブの活性化に尽力する人材を育成する

- ・ロータリーを学ぶ世界的プログラムであるRLIの目的に従い、ロータリーを学ぶきっかけを提供する
- ・クラブを超えてロータリアン同士が理解し合い絆を深め、ロータリアンであることの喜びを共有する
- ・上記の二つを通じて、クラブのリーダー育成を支援する

2. 活動計画・支援内容について

2-1.前年度活動内容

- ①セミナー開催(パートⅠ～Ⅲ、卒後研修 内リアル開催2回)
 - パートⅠ 申込受講者34人、
 - パートⅠ 修了者31人、
 - パートⅡ(3月1日)Ⅲ(4月26日)
- ②ファシリテーター(登録34人)全体研修18回
- ③RLI日本支部総会・研修会(東京)に3人参加
- ④クラブ訪問・卓話(現時点で委員長が3回)

2-2.2026-27年度 委員会としてクラブに支援できる内容

- ・セミナー参加により他クラブの会員と知り合い親睦が生まれ、視野が広がる。それにより、ロータリーの楽しさを再発見し、退会防止にも繋がる②呼んでいただければ「RLIについて」「ロータリーを学ぶ意義」などをお話します。

2-3.行事日程について

- ・セミナー年4回
(パートⅠ 9月27日函館/10月25日札幌、Ⅱ 27年2月28日、Ⅲ 27年4月18日、卒後コース 27年5月29日いずれも予定)
新しい試みとし、パートⅠを 函館と札幌の2か所開催とする。Ⅱ・ⅢはWEB、卒後は札幌開催)
- ・委員会は年5回
- ・ファシリテーターの育成 研修会を多数開催し、スキルアップを図る
- ・RLIの広報活動
 - ①会員への周知、受講の促進に力を入れる
 - ②ガバナー、ガバナー補佐の協力による周知促進
 - ③地区HP、ガバナー月信による情報提供、クラブ訪問や資料配布による広報宣伝活動
 - ④他地区のRLIの取り組みの把握、情報交換

ガバナー公式訪問例会報告

当別ロータリークラブ

7/7(火)

7月7日、古野ガバナーに当別RCをご公式訪問いただきました。当別RCを地区で最初の公式訪問先にお選びいただき、さらに私、辻野が会長に就任して最初の例会にご出席いただいたことで、大変記念すべき一日となりました。

例会では、ガバナーから「公式訪問時にクラブ協議会を同時開催しなかったことをどう思いますか」との問いかけがありました。私は「時間が評価してくれるのではないのでしょうか」とお答えしました。少々大それた返答だったかもしれませんが、それが私の率直な思いです。

ガバナーは「不易流行」という言葉を引用されました。変えてよいことと、変えてはならないことを見極めるのは容易ではありません。しかし、「変えてみなければ分からない」という一面もあるのではないかと感じています。また、ガバナーはロータリーのプログラムを通じてオーストラリアに留学した経験が人生の大きな転機となり、現在の活動につながっていると話しされました。その経験からも、ロータリーが人を育て、社会へ貢献するリーダーを生み出す場であることを実感しました。

さらに、人生の指針として大切にされている三つの教訓、稲盛和夫氏の「利他の心」、JCIクリード(国際青年会議所が掲げる基本理念・信条)の「Service to humanity is the best work of life(人類への奉仕は人生の最善の仕事である)」、そしてお父様の「人の面倒を見られる人間になりなさい」という言葉をご紹介いただきました。

会員一人ひとりが、それぞれの立場で多くの学びを得られた例会だったと思います。私自身も大変有意義な時間となりました。次回、ガバナーと再びお会いできる日を楽しみにしています。



ガバナー公式訪問例会報告

栗沢ロータリークラブ

7/8(水)

7月8日(水)、古野重幸ガバナー、第3グループ島義慈ガバナー補佐、向山松秀地区幹事、第3グループ佐々木美香ガバナー補佐幹事をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

例会に先立ち行われた、会長・幹事会では当クラブの社会奉仕活動やクラブの現状についてご報告し、その後の意見交換会では、姉妹クラブである砺波RCとの交流の経緯や会員数の減少等について現状や課題を共有し、今後の対応策について意見交換を行いました。

少人数の当クラブの社会奉仕活動として行っている交通安全街頭啓発や花壇整備等の美化運動について、古野ガバナーから少人数、少ない補助金ですばらしい、とお褒めの言葉をいただき、大きな励みとなりました。その後の例会では卓話もいただき和やかな雰囲気の中、有意義なガバナー公式訪問となりました。

今後とも、クラブ一丸となり、より一層充実した活動に取り組んでまいります。



ガバナー公式訪問例会報告

江別ロータリークラブ

7/9(木)

古野重幸ガバナー、武部幸紀地区代表幹事、島義慈第3グループガバナー補佐、泉亭英徳同幹事にお越しいただき、会長・幹事懇談会から公式訪問例会に至るまで、終始和やかな雰囲気での開催となりました。

古野ガバナーからのお話しの中で、「ロータリーの原点」というお言葉がとても印象的でした。

特に先進国では職業奉仕の概念が希薄になりつつあるなかで、将来のクラブのためにもこの職業奉仕の概念を改めて再構築する必要があるとのことのお話しでした。

そして、会員拡大も重要なミッションの一つではありますが、それに加えて解散するクラブをゼロにするため、様々な変化にチャレンジし、ロータリークラブ全体として柔軟性の導入を呼びかけていきたいとのこと。

また、古野ガバナーご自身のお話しとして、病床のお父様のお見舞いの際にお父様から掛けられた『大事なものは人の世話を出来るかどうか』という言葉がロータリークラブの『奉仕の理念』そのものだとし心に刻み、自分以外の人に奉仕することに喜びを感じることが重要だと、お話ししていただきました。

古野ガバナーの気さくで和やかな雰囲気の中にも、ロータリアンとして、またビジネスマンとしての矜持をひしひしとを感じるガバナー公式訪問となりました。

今年度スタートして2回目の例会が公式訪問となりましたが、江別RCもこれまで紡がれた歴史と伝統を継承しつつ、新たなロータリークラブの存在価値の創造に向けて邁進してまいります。



ガバナー公式訪問例会報告

七飯ロータリークラブ

7/14(木)

7月14日、七飯RC第2616回例会開催にあわせ、古野重幸ガバナー公式訪問が行われました。

当日は武部幸紀地区代表幹事、嶋崎修一ガバナー補佐にもご来場いただき、七飯RCからは向井克彦会長、秋田広樹幹事、中宮安一会長エレクトが出席し、会長・幹事懇談会及び例会を行いました。



会長・幹事会では、七飯RCが行う国際交流について興味を持たれ、七飯の人口や地域性について、会員減少問題や、各クラブの連携などについて懇談をしました。

例会時には古野ガバナーよりロータリー行動計画・循環計画に基づき主に4つ「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」についてのお話をいただきました。歴史を紐解くというお話もあり、何故、君が代やロータリソングを歌うかなどについてご説明をいただき、ロータリーの歴史を知る大切さや楽しさを知ることができました。

例会場である大沼プリンスホテルは川崎フロンターレの合宿地ともなっていることもあり、まさにワールドカップが開催されている中で、自然に囲まれた七飯町・大沼の良さについても話を深めることができました。



【報 告】クラブ活性化ワークショップ(7月26日)

200人がZOOMで「クラブ活性化」「退会防止」テーマに

第2510地区クラブ活性化ワークショップが7月26日午後1時から、ZOOMで開催されました。200人の参加者がクラブ活性化」「退会防止」をテーマに、各クラブの知恵と情報、そして悩みを交換しました。ZOOMで200人が20のグループに分かれて2回の分科会を行うというスタイルは、地区としては初めてのこと。運営にかかわったICT委員会とRLI委員会は、事前に相当の準備をしたものの不安を抱えながら7月26日を迎えました。運営を中心に報告します。

参加者200人の内訳は各クラブの会長、会員増強委員長、財団委員長のほか、古野重幸ガバナー、武部幸紀地区代表幹事、羽部大仁パストガバナー(PG)、嵯峨義輝PG、福井敬悟PG、牧野美希RI日本事務局財団室メジャーギフト・オフィサー、ガバナー補佐、地区幹事、RLI委員会、ICT委員会でした。

古野ガバナー、羽部PGの温かく示唆に富んだ講和のあと、分科会Ⅰ「クラブ活性化」、15分の休憩後、分科会Ⅱで「退会防止」について話し合いました。参加者200人による分科会形式のZOOM会議は技術面でもかなりハードルが高く、事前に接続テスト(2回)、ガバナー補佐と地区幹事対象の進行練習会(2回)を実施。当日はトラブル対応電話要員3人を配置、里見英樹ICT委員長を中心に里見委員長の会社の若手社員の力を借りながら、ZOOM上でのグループ分けや表示名の確認など、膨大な作業を行いました。大規模ZOOM分科会は、こうした運営側のスキルと参加者のZOOM経験が必要だと痛感しました。

当日は、運営側は内心、冷や冷やでした。発生するトラブルをシュミレーションしていたとは言え、きちんと問題解決ができるのか、ZOOMでの話し合いに進行役や参加者が対応できているのか、全てのグループの進行をテクニカル会場から管理するのは不可能であるなど、不安材料山積の状態。最終的にはいくつか問題はあり完璧とは言えないまでも、ほぼ無事に分科会が進行し、関係者全員ほっと胸をなでおろしました。



古野ガバナー、羽部PG、武部地区代表幹事は集合してZOOM会議に参加



ICTチームは大モニターで参加者の接続と参加状況を確認

参加者の皆さん、進行役の方たちの協力に感謝いたします。ありがとうございました。

分科会終了後は、嵯峨PG、福井PG、古野ガバナーそれぞれから、2026-27年度のクラブ運営への激励の言葉をいただき、気持ちが引き締まりました。クラブ間の情報交換や地区の支援が、各クラブの問題解決の力になることを強く感じたワークショップとなりました。

(報告:日浅尚子地区RLI委員長)

新会員情報

※入会順

苫小牧東 RC



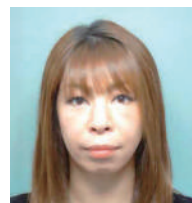
磯部 義浩
令和8年7月1日
建物サービス業

江別 RC



横田 亮則
令和8年7月2日
ガス事業

江別 RC



菊地 郁美
令和8年7月2日
飲食業

苫小牧 RC



久保田 順司
令和8年7月3日
信用金庫

千歳 RC



赤岡 匠
令和8年7月9日
生命保険

千歳 RC



白木 優至
令和8年7月9日
ホテル

千歳 RC



竹田 秀範
令和8年7月9日
電力事業

千歳 RC



林 征希
令和8年7月9日
飲食業

千歳 RC



柿原 宏幸
令和8年7月16日
地方銀行

2029-2030年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 古野 重幸
地区ガバナー指名委員長 出村知佳子

2029-2030年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛に、指定の書式にてご推薦ください。

(書式はガバナー事務所にお問い合わせください)

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16.010.節～第16.020.節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第12条(ガバナーの指名と選挙)
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)

[参照]「2025年手続要欄」

国際ロータリー第2510地区 米山奨学生紹介



北大でロケット燃料を研究しています

ディーブル・メラニー

アメリカ合衆国
北海道大学
札幌北RC

はじめまして!メラニーと申します。北海道大学工学部の修士課程2年生で、今回、米山ロータリー奨学生に選ばれたことを大変光栄に思い、感謝しています。

私はコロラド州出身です。この地名は、古いアメリカのフォークソング『Moonlight on the River Colorado』や、美しいロッキー山脈との関連で、ご存知の方もいらっしゃるかもしれません。北海道と同様、コロラド州も美しい景色と絶好のスキー環境で有名です。この共通点こそが、私が北海道をこれほどまでに愛している理由なのかもしれません!

2022年に学士号を取得して間もなく、JETプログラムに参加する機会を得て、愛媛県今治市で2年間英語を教えていました。その後、札幌に移り、北海道大学宇宙システム研究室の一員として、エンジニアとしてのキャリアを続けています。

ハイブリッドロケットエンジンとは、固体推進剤と液体推進剤をそれぞれ1種類ずつ使用するエンジンを指しています。本研究室では、このようなエンジンにCascaded Multistage Impinging-jet (CAMUI) 燃料と呼ばれる、最先端の燃料方式を発明しました。

この燃料は、単なる頭字語であるだけでなく、北海道の先住民族であるアイヌ民族への敬意を表しており、アイヌの神「カムイ」にちなんでCAMUIと名付けられています。私を含め、本研究室の多くの学生は、この燃料のさらなる開発と研究に取り組んでいます。私の研究の目的は、過酸化水素(H₂O₂)を推進剤として併用した燃料の燃焼方式を研究すること、及びそれを定義することです。

米山委員会とロータリアンの皆様の寛大なご支援に感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。



智慧を求めて、智慧を伝えて

李 昊(リ コウ)

中国
室蘭工業大学
室蘭北RC

室蘭北RCにお世話になっている奨学生の李昊と申します。中国吉林省吉林市出身で、現在は室蘭工業大学大学院博士後期課程に在籍しています。中国の高校を卒業後に来日し、今年で10年目を迎えました。この10年間、国籍や立場を問わず多くの方々とのご縁に恵まれ、温かいご支援をいただきながら学びと成長を重ねてきました。

私が日本への留学を志したきっかけは、日本文化への憧れでした。幼い頃から日本の文学や映像作品に親しみ、その中に描かれる独特の哀愁や静かな美しさに魅力を感じていました。大学では弓道部に所属し、多くの友人や貴重な経験を得ることができました。

現在は水産業に関わる情報処理分野を専門とし、AI技術を活用した水産資源管理に関する研究を行っています。また、中国語講座の講師や小中学校での国際理解教育を通じて、地域との交流にも取り組んでいます。

私の人生に大きな影響を与えたのが、中学生の頃に学んだ「玄奘の西行(げんじょうのさいぎょう・注1)」と「鑑真の渡日(がんじんのとにち・注2)」です。玄奘は智慧を求めて旅をし、鑑真はその智慧を人々へ伝えました。私はこの話に深く感銘を受けました。学びを通じて智慧を身につけ、その成果を社会のために生かす。その姿勢は、留学や研究に励む私の支えとなっています。

先賢たちの業績には及びませんが、私も科学技術者として得た知識や技術を社会に役立てるとともに、留学や地域活動を通じて得た経験を生かし、日本と中国、さらには世界の相互理解と文化交流に貢献したいと考えています。

最後に、このような貴重な学びの機会を支えてくださるロータリークラブの皆様にご心より感謝申し上げます。

注1: 中国・唐代の高僧である玄奘三蔵が、仏教の正しい教え(経典)を求めて629年(または627年)から645年にかけて、インド(天竺)へと旅した、約17年間に及ぶ壮大な求法の旅。

注2: 奈良時代の753年、唐の高僧であった鑑真が5度の渡航失敗と失明という苦難を乗り越え、6回目にして日本への来日を果たした歴史的出来事

第8期RLIセミナーのご案内

RLIセミナーは、ロータリーを知り、学び、将来を考えるためのセミナーです。充実したテキストを使い、参加者が会話を重ねて学習する新しいスタイルの研修です。1992年にアメリカでスタートし日本では2008年に始まりました。第2510地区では2019年から開講、今年度は第8期となります。地区ではすでに多くの会員が受講し、「他クラブの方と情報と意見の交換ができた」「リーダーの在り方、組織のまとめ方、議論の仕方が身に付き、仕事にも役立った」という声をいただいています。どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

(RLI委員会)

第8期RLIセミナー概要

- 目 的:** 次年度会長・幹事ほか意欲のある会員を対象に、
ロータリーへの理解を深め、悩みや迷いに対し気づきを得、
指導力を育み、クラブの活性化につなげる
- 内 容:** パートI、パートII、パートIII、卒後コースの4回で、
「リーダーシップ」「会員勧誘」「職業奉仕」「奉仕プロジェクト」
「財団」「クラブコミュニケーション」「強いクラブ」
などについて考え学びます
- 日 程:** パートI(函館会場) 9月27日(日)8時50分～16時45分 リアル(道新函館支社)
パートI(札幌会場)10月25日(日)8時50分～16時45分 リアル(札幌大学)
パートII 2027年2月28日(日)8時50分～16時45分 オンライン(Zoom)
パートIII 2027年4月18日(日)8時50分～16時45分 オンライン(Zoom)
卒後コース・修了式・懇親会 2027年5月29日(土)リアル開催(会場:札幌市内)
- 受講申し込み方法:** パートI・II・III・卒後コースの一括申込
受講申込フォーム(各クラブ事務所に送付)に必要事項を入力してRLI委員会
(rotary2510rli@gmail.com)に送信
- 申込締切:** 2026年8月28日(金)
- 受講費:** パートI・II・III・卒後コースの全受講費+テキスト代 = 合計10,000円
受講費はできるだけクラブ負担とし、受講者分をまとめて納入。
納入期限は9月18日。欠席の場合でも返金は不可。
卒後コース後の懇親会は別途会費が必要
- 振 込 先:** 北洋銀行 豊平支店 (普)3364690「第2510地区RLI委員会」
※詳細はクラブ事務所に送付した受講案内をご覧ください。
- 問い合わせ:** E-mail: rotary2510rli@gmail.com (地区RLI委員会専用)

第2510地区 地区大会実行委員会に聞く 全会員対象に「地区指導者育成セミナー」 1日目に開催

2026-2027年度国際ロータリー第2510地区の地区大会が10月9日(金)の記念ゴルフ会を皮切りに11日(日)まで、札幌市内で開催されます。ホストクラブの札幌RCに置かれた地区大会実行委員会(委員長:中田隆博)に、地区大会への抱負をうかがいました。

質問1 地区大会の全体のコンセプトはなんですか? また、今年度の特徴はありますか?

地区大会のコンセプトは「会員が主役」を大前提とし、楽しいだけではなく、「華やかな大会」を目指しています。基本的には前回の函館大会を参考にプログラムを組んでいますが、大会前日の10月9日には、記念ゴルフ大会を復活させて、名門の札幌ゴルフクラブ輪厚コースにて開催します。

また、初日の会長・幹事会の後には、「地区指導者育成セミナー」を大会登録いただいた全会員対象に拡大して開催します。古野ガバナー肝いりのプログラムです。

質問2 地区大会まであと2か月。実行委員会は、今、どんな準備に注力していますか?

予定通りに各プログラムが淀みなくスムーズに進行されるように注意して準備しています。

質問3 会場が2か所に分かれてますが、それぞれの会場で何が行われるのですか?

初日は札幌グランドホテル(札幌市中央区北1西4)を会場とし、「会長・幹事会」「地区指導者育成セミナー」を開催します。その後、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会&大懇親会となります。2日目は会場を札幌テレビ塔のすぐそばのカナモトホール(札幌市中央区北1西1)に移します。朝から本会議、最後に記念講演会を開催します。

質問4 実行委員会が一番、苦勞していることは?

次から次へと、やらなければならない事が湧いてきます。実行委員はそれぞれ自分の仕事があるわけで、日々の仕事に追われながら何とかこなしている感じです。

質問5 仕事とロータリー活動と地区大会準備の両立、本当にお疲れさまです。さて、登録されるロータリアンへのメッセージをいただきたいと思います。

古野ガバナーの思いのこもった大会を構築するべく、札幌RC一丸となって準備を進めています。1人でも多くの会員の皆様のご登録とご参加をお待ちしています!大会プログラムすべてに参加いただいて、地区大会の本当の目的を達成できると考えています。ぜひ、2日目の講演会が終わるまで、ご参加をお願い申し上げます。



地区大会運営を担う地区大会実行委員会と地区幹事の皆さん

持続可能なインパクトを生み出そう

2026-2027 ホストクラブ 札幌ロータリークラブ

国際ロータリー 第2510地区

地区大会

Discover your joy in Rotary

登録料

- 会 員 18,000円 ●ご家族 10,000円 ●新世代 7,000円
 ●RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 & 大懇親会 15,000円
 ●記念ゴルフ大会 8,000円

2026
10/10
土札幌
グランド
ホテル札幌市中央区
北1条西4丁目13:40 ▶ 会長・幹事会
登録受付13:0014:45 ▶ 地区指導者育成セミナー[全会員対象]
・基調講演
・パネルディスカッション18:30 ▶ RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
& 大懇親会
登録受付18:002026
10/11
日カナモトホール
(旧札幌市民ホール)

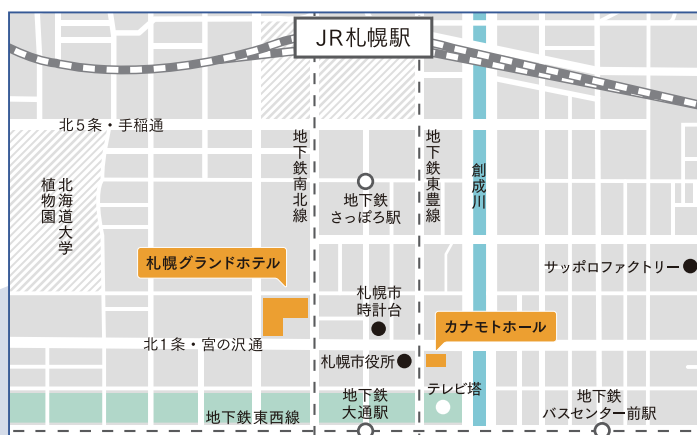
札幌市中央区北1条西1丁目

9:00 ▶ 本会議
登録受付8:3011:35 ▶ 記念講演
閉会時間13:00

※上記プログラム及び時間は変更される場合がございます。

2026
10/9
金札幌ゴルフ倶楽部
輪厚コース
北広島市輪厚77

記念ゴルフ大会

8:05 スタート
[定員] 112名Rotary
世界を変える行動人2026～2027年度
国際ロータリー第2510地区
地区大会事務局〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西3丁目 敷島ビル8階
MAIL sappororc08@gmail.com FAX 011-222-2744

持続可能なインパクトを生み出そう

2026-2027 ホストクラブ 札幌ロータリークラブ 国際ロータリー 第2510地区

Discover your joy in Rotary

地区大会



国際ロータリー会長
オラインカ・
ハキーム・ババロラ



ガバナー
古野 重幸



地区大会実行委員長
中田 隆博

ご挨拶

来る10月10日(土)・11日(日)の2日間、札幌RCがホストを務めRI第2510地区の地区大会を開催いたします。
2026-2027年度国際ロータリー会長オラインカ・ハキーム・ババロラ氏のテーマ『持続可能なインパクトを生み出そう』、さらには古野ガバナーが掲げたガバナーメッセージ『Discover your joy in Rotary』のもと、ホストクラブ会員が一丸となって準備にあたっております。

記念講演には、脳科学者の茂木健一郎氏をお迎えし、「脳科学から見るAIの未来」についてご講演をいただきます。
今大会がご参加いただいた皆様にとって、お互いの友情の輪が広がり、実りの多い大会になりますよう、努力してまいる所存です。

ぜひ多くのロータリアンとご家族のご参加を心よりお待ち申し上げます。

10月10日(土)

地区指導者育成
セミナー 全会員対象

●基調講演

『出会いこそ、生きる力』

講師 俳優、タレント

サヘル・ローズ氏



イラン出身。7歳まで孤児院で過ごし、8歳で来日。舞台『恭しき娼婦』で主演を務め、主演映画『冷たい床』ではミラノ国際映画祭などで受賞。映画・舞台に加え、近年は監督としても活動し、2024年に監督作『花束』を公開。今年3月には、自身の旅を通して得た気づきを綴った新著『生きることから、すべては始まる』を刊行。国内外で支援活動も続け、2020年にアメリカで人権活動家賞を受賞。

●パネルディスカッション

『平和とは何か～未来への対話～』(仮)

アドバイザー サヘル・ローズ氏

パネリスト

JICA 北海道所長

中川 岳春氏

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン/

RI第2510地区グローバル奨学生

野元 恵理氏

天理大学国際部准教授/
平和フェロー1期生

小松崎 利明氏

RI第2510地区ロータークエスト代表

佐藤 大河氏

コーディネーター

国際ロータリー 第2510地区
2024-25年度ガバナー

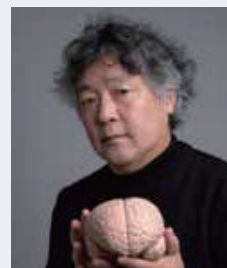
出村 知佳子氏

10月11日(日)

記念講演

『脳科学から見る
AIの未来』～私たちはAIと
どう向き合っていくか～

脳科学者 茂木 健一郎氏



1962年、東京生まれ。ソニーコンピュータサイエンス研究所上級研究員。屋久島おおぞら高校校長。東京大学大学院特任教授、岐阜大学客員教授、Kyutech ARISE顧問、イマジン大学学長。東京大学理学部・法学部卒業、同大学院理学系研究科物理学専攻修了。理学博士。
理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。脳科学、認知科学、特に「クオリア」を中心とする意識の科学を研究。『脳と仮想』で小林秀雄賞、『今、ここからすべての場所へ』で桑原武夫学芸賞を受賞。近著に『クオリアと人工意識』。NHK『プロフェッショナル 仕事の流儀』キャスター、TED登壇など、メディアでも活動。近年はAI alignmentにも取り組み、意識の科学、AI、人間理解を横断し、日本発の知を世界へ発信している。

10月10日(土)

RI会長代理ご夫妻歓迎
晩餐会&大懇親会ステージギャップものまねで大人気!
十和田奥入瀬観光大使としても活躍中!

『りんごちゃん ものまねLIVE』

タレント りんごちゃん

出身地: 青森県十和田市

性別: りんごちゃん

趣味: 歌う事、料理(中華料理限定)



2027年バルセロナ国際大会のご案内

2027年国際大会は当初、ドバイ（アラブ首長国連邦）での開催が予定されていましたが、中東地域における情勢不安と旅行面での不確実性によりドバイでの開催が困難となり、後年に延期されることとなり、新たにバルセロナ（スペイン）が2027年ロータリー国際大会の開催地として選ばれました。

世界有数の国際会議場があるバルセロナは、2002年にもロータリー国際大会が開催されており、多くの国から航空便でアクセスしやすい都市です。

バルセロナでの2027年ロータリー国際大会への登録は、2026年9月に開始される予定です。

世界中のロータリアンが一堂に会し、特別なひとときとなるでしょう。

どうぞ皆さまをお誘いあわせのうえご参加ください。

ガバナー

古 野 重 幸

ガバナーエレクト

齋 藤 茂 生

国際大会ひとくちメモ

★第1回目の国際大会はいつ？

1910年8月15日～17日 米国シカゴで。参加者60人。ロータリー創立から5年後です。

★戦時中の国際大会は？

第1回目以降、途切れなく続き、第二次世界大戦中も継続されていましたが、1944年（シカゴ開催）は403人、1945年（同）は141人の参加となり、大戦前の一割程度の参加者となりました。1946年（アトランティックシティ開催）には1万人を超える参加者となっています。

★日本で開催したことは？

1978年5月に東京で、2004年5月に大阪で開催されました。参加者は東京大会が39,834人、大阪大会は45,381人でした。ちなみに今年6月の台湾大会は38,089人です。

★来年以降の開催地は？

暫定とされていますが、2028年は米国ミネアポリス（5月27日～31日）、2029年はアラブ首長国連邦ドバイ（6月23日～27日）、2030年は米国シカゴ（5月25日～29日）となっています。

Rotary

BARCELONA
2027

RI INTERNATIONAL CONVENTION

TEAM JAPAN

でつなぐ、

バルセロナへ。

友情から平和へ。



TEAM JAPAN

でつなぐ、
日本のプレゼンスと世界の友情。TEAM JAPAN
to
Barcelona

友情から平和への旅

台北からバルセロナへ。

世界中のロータリアンとの出会い、
再会、そして数え切れない感動。2027年6月26日、
Barcelona Japan Nightで
お会いしましょう！

¡Nos vemos en Barcelona!



Japan Night



2027/6/26 (Sat)

(現地時間/Local Time)



RIバルセロナ国際大会 2027 スケジュール概要

開催期間：2027年6月26日(土)～30日(水)

会場：Fira Barcelona Gran Via
(フィラ・バルセロナ・グラン・ビア)

日程	主な内容
6月26日(土)	友愛の家オープン
6月27日(日)	本会議開始・開会式予定
6月28日(月)	本会議・分科会
6月29日(火)	本会議・分科会
6月30日(水)	本会議・分科会・閉会



世界との出会い



友情を深める



学びと気づき

持続可能な
未来へ

平和への行動

感動を
分かち合う

Barcelona, Spain

convention.rotary.org

#RotaryBarcelona2027

地区カレンダー（8月・9月）

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間	
1 (土)	インターアクト研修旅行(台湾～3日)
2 (日)	
3 (月)	公式訪問(札幌北RC、長沼RC)
4 (火)	公式訪問(白老RC、苫小牧北RC)
5 (水)	公式訪問(札幌真駒内RC)
6 (木)	公式訪問(苫小牧東RC)
7 (金)	公式訪問(苫小牧RC)
8 (土)	
9 (日)	
10 (月)	
11 (火)	山の日
12 (水)	
13 (木)	
14 (金)	
15 (土)	
16 (日)	
17 (月)	公式訪問(洞爺湖RC)
18 (火)	公式訪問(伊達RC、室蘭北RC)
19 (水)	公式訪問(室蘭東RC)
20 (木)	公式訪問(室蘭RC、登別RC)
21 (金)	
22 (土)	
23 (日)	
24 (月)	公式訪問(三石RC)
25 (火)	公式訪問(浦河RC)
26 (水)	公式訪問(静内RC、様似RC)
27 (木)	公式訪問(えりもRC)
28 (金)	
29 (土)	
30 (日)	
31 (月)	

9月 基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間	
1 (火)	公式訪問(江別西RC、札幌大通公園RC)
2 (水)	公式訪問(留萌RC)
3 (木)	公式訪問(羽幌RC)
4 (金)	
5 (土)	地区親睦野球大会(岩見沢市営球場)
6 (日)	
7 (月)	第1回ガバナーエレクト・ラーニングセミナー(GELS) (神戸～8日)
8 (火)	公式訪問(北広島RC、千歳セントラルRC)
9 (水)	公式訪問(倶知安RC) 2027-28年度地区ラーニングファシリテーターセミナー (神戸)
10 (木)	公式訪問(岩内RC)
11 (金)	公式訪問(小樽南RC)
12 (土)	
13 (日)	
14 (月)	公式訪問(蘭越RC)
15 (火)	公式訪問(小樽RC)
16 (水)	公式訪問(札幌モーニングRC、余市RC)
17 (木)	公式訪問(札幌東RC)
18 (金)	公式訪問(札幌幌南RC)
19 (土)	
20 (日)	
21 (月)	敬老の日
22 (火)	国民の休日
23 (水)	秋分の日
24 (木)	
25 (金)	
26 (土)	
27 (日)	RLIセミナー パートI(函館開催)
28 (月)	
29 (火)	公式訪問(札幌西RC)
30 (水)	公式訪問(新札幌RC)

【表紙について】

北海道の花

ハマナス (*Rosa rugosa*)

ハマナスバラ科バラ属の低木樹。

耐寒性が強く東アジアの沿岸地帯に自生し、初夏に花をつける。

鮮やかな紅紫色の花と甘い香りで知られる。

1978年7月26日に北海道の花に指定されている。

花後にミニトマトのような形の橙色の実をつける。

ハマナスは野生種であるが、それを使った新品種が北海道立林業試験場で開発され、その一品種「コンサレッド」は「コンサドーレ」を応援するシンボルカラーとして名付けられた。

撮影と解説 大原 雅(札幌RC)